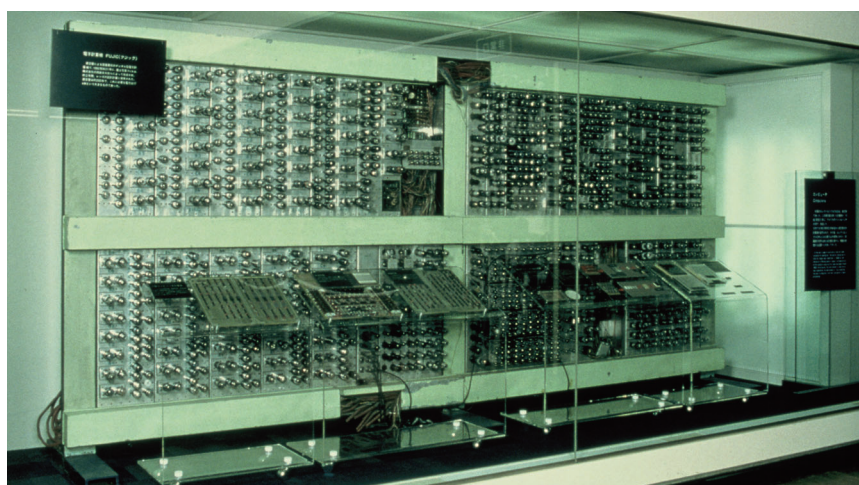


スーパーコンピュータ FUJIC Brain

世界中にまだ数えるほどしかコンピュータが存在しなかった1949年、富士フィルムはその独自開発に着手。そして1956年、ついに史上初の国産コンピュータ「FUJIC」を完成させました。カメラ用レンズの設計においてネックとなっていた計算業務を効率化し、優れた製品を一刻も早くお客様のもとに届けるためでした。

それから62年。富士フィルムはスーパーコンピュータ「NVIDIA® DGX-2™」を導入して、深層学習用高速計算システムを構築。「FUJIC」の名にちなんで「FUJIC Brain」と命名しました。今後は「FUJIC Brain」による高速演算で、短期間に精度の高いAI技術を開発、ヘルスケアや高機能材料などさまざまな分野で、革新的な製品・ソリューションを提供していきます。

コンピュータが持つ圧倒的なスピードとパワーを、社会課題を解決し、人々の生活の質を向上させるためにこそ活用したい——昔も今も、富士フィルムの思いは変わりません。私たちはデータを価値に変えることで、時代を、未来を切り拓いていきます。



FUJIC



FUJIC Brain